



1/19

美しいふるさとを未来へ 淡水魚保全シンポジウム

絶滅の危険性の高い淡水魚類の保全を推進することを目的に、いすみ市にて「淡水魚保全シンポジウム」が開催され、全国から433人が参加しました。

当日は、秋篠宮文仁親王殿下のご臨席のもと、市内新治小学校の児童24人が、いすみ市と御宿町の小学生の皆さんと「ミヤコタナゴを未来に残していくためにできること」について発表しました。



▲ミヤコタナゴについて発表する新治小学校の児童



▲がれきの下から人形を救助する参加者

自分たちで守る！

2/11

自主防災組織リーダー研修会

市は、自主防災活動に大きな役割を担うリーダーの育成を目的として、市役所において自主防災組織リーダー研修会を実施しました。

当日は、各自主防災組織の代表者や構成員など83人が参加。ボールやジャッキを使ったがれきからの要救助者の救助方法や搬送技術などを習得しようと、みな真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

3/4

春の七福神を巡ろう！ ぐるっと長生フェスタ2017

市内の七福神を祀る寺院をノルディックウォーキングで巡る「ぐるっと長生フェスタ2017」が開催され、130人が参加しました。

これは、長生地域の魅力を直に体験し、興味関心を持ってもらおうと、長生地域観光連盟が開催しているもので、参加者は茂原公園の弁天堂からスタート。各寺院で七福神のスタンプラリーを行いながら、市内13kmをウォーキングしました。



▲初心者も経験者も気持ちの良い汗を流しました



▲自分だけのオリジナル凧を作りました

茂原の魅力を再発見！

3/14

もばらふるさと塾「農業・観光交流体験ツアー」

第28回もばらふるさと塾「農業・観光交流体験ツアー」が開催され、市民20人が参加しました。このツアーは、ふるさと茂原の魅力をあらためて感じてもらうために、茂原市園芸協会・茂原市観光協会の主催により実施されているものです。

参加者は、凧づくり体験を通して伝統工芸に触れたほか、大根の収穫体験や直売所「旬の里ねぎぼうず」を見学し農業の現場を肌で感じている様子でした。